

通期の見通し

平成14年度の販売電力量については、引き続き厳しい経済状況が続くなかで、産業用需要が前年割れとなることなどから、前年度比0.4%減の2,745億kWhと見込んでおります。

売上高については、こうした販売電力量の減少に加えて、今年4月から実施している電気料金引下げが年度を通じて影響することなどから、連結で4兆8,300億円程度、当社単独では4兆7,200億円程度になるものと見込んでおります。

経常利益については、為替レートの円安化など悪化要因はあるものの、金利低下などに伴う支払利息の負担減や使用済核燃料再処理費の減に加えて、設備投資の抑制による減価償却費の減少、さらには修繕費をはじめとする業務運営全般にわたる効率化を一層推進することにより、連結で2,900億円程度、当社単独は3,000億円程度を確保したいと考えております。

<連 結>

売上高	4兆8,300億円程度
経常利益	2,900億円程度
当期純利益	1,800億円程度

<単 独>

売上高	4兆7,200億円程度
経常利益	3,000億円程度
当期純利益	1,920億円程度